

三重大学「学生海外チャレンジ応援事業」報告書

計画タイトル	採択コース
ペルーで絶滅危惧種・野生動物保護の海外ボランティア	Bコース

学生情報	
氏名	山岸しずく
所属学部・研究科	生物資源学部
学年(出発時)	2年

渡航先情報	
渡航先	Peru Puerto Maldonado
渡航先滞在期間	2023年8月14日 ～ 2023年9月4日
訪問先機関等	Projects Abroad
訪問先機関での身分	海外ボランティア

渡航概要と内容
アマゾンジャングルの自然保護区の中にある、Taricayaという施設で3週間過ごしました。非日常の毎日、きれいな水無し、ネット無し、冷たいシャワー無し、エアコン無しではあったものの、素晴らしい仲間と共同生活をしました。Taricayaには、世界中からのボランティアと南米からの獣医学を学ぶ学生がいました。週末は、都市にいったみんなでホテルでリラックスをしたり、レストランやダンスパーティーに行ったりしていました。平日は以下に示すようなことを終日行っていました。 ①野生動物のデータ収集(生態調査):●観察台からの鳥類の個体数調査●カメラトップを利用した野生動物の生態系調査●ハイキングを通した野生動物のデータ収集 ②動物再生プログラム:違法なペットや、サーカスで虐待された動物や絶滅危惧種の動物への日常のサポート。栄養を考えたエサの準備、モニタリング、ケア、檻の清掃、フェンスの修繕やメンテナンス作業。 ③繁殖プログラム:●川岸のパトロールをしながらかめの卵を回収し、保護した卵を保護区内で孵化するまで見守った後、自然に返す作業。●チョウを捕獲し、繁殖させ、その生態の研究の補助●クモザル再生息プログラム ④マホガニーの植林地の整備と計測 https://www.projects-abroad.jp/projects/volunteer-conservation-amazon-rainforest-peru/

渡航により達成できたこと
・自分がもともと興味をもっていた、絶滅危惧種の興味関心を高めることが出来ました。現地に生息する動物の専門家に同行して、アマゾンジャングルの調査や保護された動物のお世話をして、その中で仲間や専門家にいろいろ教えてもらったり、皆で議論したりしました。 ・上記のように、私が訪問したTaricayaという施設には、南米から集まる学生もいました。彼らは、ほとんど英語を話すことが出来ませんでした。私は彼らととても仲良くなれて、今でも本当に大切な友達です。今回、言語の壁を超えたコミュニケーション能力を身につけられたと確信しています。 ・南米という日本の反対側にあって、文化も経済状況もなにかも全く違う地を訪れました。そこでは、その国ならではの良さとともに、日本にはないような課題を実感することが出来ました。

渡航を通して感じたこと・学んだこと

・非日常の生活を通して、普段便利なものに囲まれている私たちはそれらに頼りすぎていて、それが多少無くても平気かもしれないのに、それを考えずに使いすぎてしまっているのではないか、と思いました。
・世界に大きな影響を与えるアマゾン、そこにはとてつもなく多様な自然環境が広がっています。さらに、それが分布している地域は、まだまだ日本に比べると発展途上の国にあたります。そのため、アマゾンが違法森林伐採、違法採掘、密猟などの問題を抱えていると感じました。

今回の経験を今後の学修及びキャリアパスの中でどのように活かしていくか

・私は今回の経験を通して、渡航前よりもさらに絶滅危惧種に関する興味関心が高まりました。帰国して、いろいろな文献を読んでみると、経験したこと、見聞きしたことすべてがつながりました。現在、私は共生環境学科の地球コースに所属している2年生です。来年から始まる、研究では、アマゾンに関係することを扱いたいと思っています。また、もう一度南米に行くこと、そこで自分のキャリアを作ることを考えています。
・現在三重大で学んでいる留学生との交流、去年のアメリカ・ボストンでの一か月、今年のアマゾンでの3週間の滞在を通して、私は、自身を多国籍の環境の中に置くことが大好きだと感じています。異なる文化、考え方、価値観を持った人々は、日々私に新しい世界を見せてくれます。また、私は、日本人と接する自分と、彼らと接する自分とは多少異なっているかもしれないと感じています。以前から、国連のような国際機関で働くことにも興味を持っていて、将来はやはりそのような道に進みたいという思いが強くなりました。

この事業での渡航を考えている学生へのアドバイス

この事業はとても素晴らしいと思います。私はこの事業を知る前までは、ペルーでの海外ボランティアは諦めていました。私がこのボランティアを希望していた理由としては、これが本当に私が求めていたやりたいことと合致していたからです。他にももっと安い海外ボランティアがネット上にたくさん存在していましたが、なぜかそれらには興味が惹かれませんでした。この事業での経済的支援により、人生で一番の経験ができました。今回の経験は、今、私の人生設計を作る上での重要な軸の一つになっています。

計画全体にかかった費用(自己負担分も含めて、日本円で記載すること。)

渡航費(往復)	281,400円
海外旅行保険	33,600円
海外ボランティア代金	361,500円
宿泊費	(週末)8640円
光熱費	ボランティア代金に含まれる
食費	(週末)11520円
その他(wifi,esim,ワクチン)	109,620円
合計	806280円